



バレンタインデーはなぜできたの

チョコレートをおくる日

日本では、毎年2月14日は、女性のほうから男性に、愛情を打ちあけてもよい、バレンタインデーとして、多くの女性が、男性にチョコレートを、おくっています。しかし、少し前までの日本には、このような習慣はなかったのです。今日のような習慣が広まったのは、日本のある菓子メーカーが、1958年から、「バレンタインデーには、女性から男性に、チョコレートをおくろう」と、宣伝したからです。

バレンタインデーとはどんな日か

今から1700年あまり前、地中海周辺に広い領土をもっていたローマ帝国で、キリスト教の司祭ウァレンティヌス(英語ではバレンタイン)が、死けいになりました。司祭が、皇帝のやりかたに反対し、皇帝のいかりをかったのが原因だと、いわれています。キリスト教徒は、司祭を聖人としてうやまい、死けいになった日(2月14日)を、彼の記念日としました。いっぱんに、これがバレンタインデーの始まりだと、いわれています。しかし、同じ日に死けいになった、同じ名前の聖人はふたりいた、という説もあるなど、どの聖人の記念日であるかは、はっきりとはわかりません。

バレンタインデーに、おくり物をする習慣の始まり

今日では、イギリスやアメリカを中心に、男女の間で、バレンタインカードやおくり物をわたし合う、という習慣が広がっています。この習慣の始まりも、鳥のオスとメスがいっしょになる季節であることと、ウァレンティヌスの記念日が結びついたものだという説や、昔のローマで行われた、豊作をいのる祭りから始まったのだという説など、いろいろな説があります。(監修・田代 脩)

